

12月

## 新着図書

## 777(トリプルセブン)

著者名:伊坂 幸太郎  
 出版者:KADOKAWA

そのホテルを訪れたのは、逃走中の不幸な彼女と、不運な殺し屋。そして一。やることなすことツキに見放されている殺し屋・七尾。通称「天道虫」と呼ばれる彼が請け負ったのは、超高級ホテルの一室にプレゼントを届けるという「簡単かつ安全な仕事」のはずだった一。時を同じくして、そのホテルには驚異的な記憶力を備えた女性・紙野結花が身を潜めていた。彼女を狙って、非合法な裏の仕事を生業にする人間たちが集まってくる…。『マリアビートル』から数年後、物騒な奴らは何度でも！

## 文学キョーダイ！！

著者名:奈倉 有里 逢坂 冬馬  
 出版者:文藝春秋

現代文学の最前線に立つ姉弟が語り合う、この世界の影と光。『夕暮れに夜明けの歌を』紫式部文学賞受賞・奈倉有里×『同志少女よ、敵を撃て』本屋大賞受賞・逢坂冬馬。

## かたぼみ

著者名:木内 昇  
 出版者:KADOKAWA

リクエスト  
 ありがとうございます  
 ございます

太平洋戦争直前、故郷の岐阜から上京し、日本女子体育専門学校で槍投げ選手として活躍していた山岡梯子は、肩を壊したのをきっかけに引退し、国民学校の代用教員となった。西東京の小金井で教師生活をはじめた梯子は、幼馴染みで早稲田大学野球部のエース神代清一と結婚するつもりだったが、恋に破れ、下宿先の家族に見つられながら生徒と向き合っていく。やがて、女性の生き方もままならない戦後の混乱と高度成長期の中、よんどころない事情で家族を持った梯子の行く末は…。血の繋がらない親子を描く、笑いと涙のホームドラマ。

## うつ病の壁

著者名:和田 秀樹  
 出版者:幻冬舎

リクエスト  
 ありがとうございます  
 ございます

うつ病は、脳のハード面とソフト面の両方が故障して起きる病気。脳の伝達物質が減少するハード面の不調は薬でよくなることが多いが、同時に考え方やものの見方といったソフト面も改めないと、かなりの確率で再発してしまう。逆転の発想で捉えれば、うつ病とその治療は、生き方を変える大チャンスにもなる。1000人以上の患者と向き合ってきた著者は、「うつ病の壁」を乗り越えれば人間として成長し、その後の心の危機も予防できるという。うつ病についての正しい最新の知識で、心と体を守る一冊。

## 家事か地獄か

著者名:稲垣 えみ子  
 出版者:マガジンハウス

これがほんとうのお金に頼らない生き方。デフレ・インフレ・不況災害・老後もなんのその。人生100年時代のまさかの出口戦略。

## 君が手にするはずだった黄金について

著者名:小川 哲  
 出版者:新潮社

片桐は高校の同級生。負けず嫌いで口だけ達者、東大に行って起業すると豪語していたが、どこか地方の私大で怪しい情報商材を売りつけていたらしい。それが今や80億円を運用して六本木のタワマンに暮らす有名投資家。ある日、片桐の有料ブログはとつぜん炎上しはじめ、そんな中で僕は寿司屋に誘われる…。著者自身を彷彿とさせる「僕」が、怪しげな人物たちと遭遇する6つの連作短篇集。

## 幽玄F

著者名:佐藤 究  
 出版者:河出書房新社

少年は、空を夢見、空へ羽ばたく—空を支配するG(重力)に取り憑かれ、Fを操る航空宇宙自衛隊員・易永透。日本・タイ・バングラデシュを舞台に「護国」を問う、圧巻の直木賞受賞第一作。

## 雇足軽八州御用

著者名:辻堂 魁  
 出版者:祥伝社

リクエスト  
 ありがとうございます  
 ございます

関八州とは、上総、下総、安房、常陸、下野、上野、武蔵、相模の八州のことである。越後宇海藩の竹本長吉は上役の罪に連座し失職、故郷に妻子を残して江戸に仕事を求めてきた。様々な職の中、請人宿で選んだのは「雇足軽」だった。関八州取締出役の藤木鉄之助の元、数名で一年をかけて関東の農村を巡回し治安を維持する、勤定所の臨時雇いである。日当わずか八十文。二八番麦が十六文、鰯飯なら二百文が相場だった。討捨ても御免だが、刀を抜くことは珍しい。多くは無宿の改め、博奕や喧嘩、風俗の取り締まり、農間渡世の実情調査や指導などの地道なものだった。巡る季節のなか、土地土地で老若男女の心の裡に触れる長吉は、妻子を想い己が運命と葛藤する。そんな時、残忍非道な押し込み強盗一味の捕縛を命じられ—ときに鬼神と化し、ときに仏の慈悲を施す八州廻りを、郷愁豊かに描く！

## 老い方、死に方

著者名:養老 孟司  
 出版者:PHP研究所

リクエスト  
 ありがとうございます  
 ございます

自我を「できるだけ広げてしまおう」生き方とは。入院や愛猫の死を経験した養老孟司氏が、改めて「老い」と死を見つめる。新たなタイプのアンチエイジング薬の開発、人気エッセイストによる認知症の介護の実体験、生活保護費から見えるてくる老後の生活の真実、自己を開くことが死の「練習」になる…。幸福な老後を過ごすための、大切な知恵が詰まった一冊。

## RE-START

著者名:鈴井 貴之  
 出版者:幻冬舎

リクエスト  
 ありがとうございます  
 ございます

『水曜どうでしょう』のミスターであり、映画監督であり、はたまた会長でもある鈴井貴之は、赤平の森の中で愛犬たちとともに暮らす。都会にはない、様々な困難に直面しながら、犬との生活の中で得た「人は変えられる」という確かな想い。それは、人間としての葛藤、コンプレックス、挫折、全てと向き合い、乗り越える道のりだった。

12月

## 新着図書

## 窓ぎわのトットちゃん 続

著者名:黒柳 徹子  
 出版者:講談社

一人ぼっちのトットを乗せて夜行列車は走りはじめた。国民的ベストセラー待望の続編！みんなが会いたかった「その後」のトットちゃん。

## ぬまの100かいだてのいえ

著者名:いわい としお  
 出版者:偕成社

ある山のてっぺんに「まんげついわ」とよばれる丸くて大きな岩がありました。岩から少しはなれた沼に、オタマジャクシのウズがくらしています。ウズはやさしく勇気があって、みんなの人気者。仲間たちと毎日楽しくらしていたある風の強い日、「まんげついわ」がゴロゴロゴロゴロ バシャーン！とぬまに落ちてきて…！大人気「100かいだてのいえ」シリーズ第6弾。今回の舞台は、なんと「ぬま」！淡水にくらす生きものたちがウズを出迎えます。どんな生きものたちがいるのでしょうか？

## じい散歩 [2]

著者名:藤野 千夜  
 出版者:双葉社

前作からさらに歳を重ね、夫婦あわせて180歳を超えた新平と英子。3人の独身中年息子たちは相変わらずの呑気さで、自宅介護が必要になった母親の面倒を見る気配もない。まさに老老介護の生活が始まった新平にとって束の間の息抜きは、趣味の散歩や食べ歩き。もちろん、留守番している妻への土産は忘れない。果たして、老夫婦が辿る道のりは？そして、妻の「反乱」とは！？身につまされながらもどこか可笑しくて元気をもらえる、必携(!)家族小説。

